※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合−１	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	わたしたちの歴史　日本から世界へ　改訂版（山川出版社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は、日本の歴史と世界の歴史を関連付けながら学習する科目です。この授業では主として 18 世紀から 20 世紀初期までを取り扱います。歴史総合で大切なことは、日本と世界の歴史を比べたり、つながりや影響を考えたりすることです。これらを踏まえて学習し、現代日本や世界とのつながりや課題、そして未来について考えていきましょう。

評価は、学習状況の観察、授業プリント・ノート、課題、定期考査、振り返りシートで行います。

２　学習の到達目標

①学習を通して、世界の歴史と日本の歴史のつながりを理解し、近現代の歴史を学ぶための諸資料から、様々な情報を効果的に調べ、活用できる。
②近現代の歴史の変化や関連性、つながりなどについて考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けて構想したり、説明したり、議論したりする力を身につける。
③近現代の歴史にかかわる諸事象について、主体的に課題を追究し、解決しようとする態度を養い、日本や他国の歴史と文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ・近現代の歴史について写真や地図、グラフやデータ、文献や絵画などの諸資料から有用な情報を適切に読み取り、様々な角度から捉え、効果的に活用することができる。	・世界の歴史と日本の歴史を関連付けて実証的、多面的、多角的、批判的に考察し、自らの考えを適切に説明、表現することができる。	・近現代の歴史を学ぶ意義に気づき、関心を高め、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的に学習に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歴史の舞台	・東アジア ・南アジア・東南アジア ・西アジア ・ヨーロッパ ・アメリカ大陸 ・アフリカ大陸	a:諸地域の概要や風土、諸宗教との関連性について理解している。 b:諸地域の概要や風土、諸宗教との関係、共通点や相違点について考察し、表現している。 c:地図や図版、グラフなどを活用しながら、諸地域の特色を分析しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	歴史の扉	・歴史と私たち　学校の歴史 ・歴史と資料　学校の給食の歴史	a:私たちの生活や身近な物事に着目し、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解できている。 b:諸資料や図版などから適切に情報を読み取り、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 c:身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	近代化と私たち	・近代化への問い ・結びつく世界 ・18 世紀の世界とアジア ・産業革命 ・アヘン戦争と日本 ・日本の開国 ・考えてみよう！江戸時代 ・日本開国期の国際情勢 ・開国後の日本社会 ・市民革命と国民統合 ・考えてみよう！国民国家と多民族国家 ・明治維新 ・富国強兵と文明開化 ・日本の明治初期の外交	a:世界と日本が近代化するなかで、どのようなつながりがあるのかを諸資料を利用して理解できている。 b:世界と日本が近代化するなかで、様々なテーマを通して、それらの共通点や相違点について考察し、表現できている。 c:欧米の近代化や日本の近代化、帝国主義や日清戦争・日露戦争などの経過について自ら見通しをもって学習に取り組み、主体的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

		・考えてみよう！琉球と蝦夷地 ・大日本帝国憲法の制定 ・日本の産業革命と日清戦争 ・帝国主義 ・日露戦争と韓国併合				
	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・国際秩序の変化や大衆化への問い ・大衆運動の芽ばえ ・第一次世界大戦 ・第一次世界大戦と日本 ・ロシア革命とその影響 ・社会運動の広がり ・国際協調 ・アジアの民族運動 ・大衆社会の到来 ・考えてみよう！大衆文化としてのスポーツ、野球 ・考えてみよう！大衆文化としての映画	a:生産力の向上や科学技術の発達による戦争の変化、第一次世界大戦後の政治・経済・社会の変化が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解できている。 b:諸資料や図版などから大衆運動や第一次世界大戦前後の国際秩序の変化、民族運動や大衆文化についてそれらの要因や影響、問題点について考察し、表現できている。 c:19 世紀後半から 20 世紀初期にかけての国際関係について、自ら見通しをもって学習に取り組み、主体的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度